

プラスチックごみも食品ロスも、**一人一人が行動しなければ解決しません。**

▶プラスチックごみ問題でできること

プラスチックごみを減らそう

- 外出時にはマイバッグを忘れずに
- マイボトル(水筒)でペットボトル削減



実践!新しいエコ生活様式

- ★店でお弁当を買って自宅で食べる時は、個包装された使い捨ての割り箸やスプーンを辞退しよう。
- ★通販を利用した時は、ビニール袋や気泡緩衝材はプラごみに出そう。



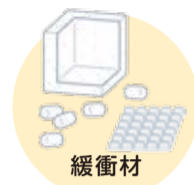
きちんと分別しよう

●プラスチック製容器包装の見分け方

- ① プラマーク があるか
- ② 商品を買った時に、包んでいた**容器や包装**であるか
- ③ プラスチックできているか



カップ・パック類



緩衝材



袋類



プラスチック製ボトル

その他、食品のトレイやチューブなどもあります

プラごみ分別Q&A

Q マヨネーズの容器や歯磨きのチューブは、きれいに洗わないとダメ?

A 中身を使い切り、軽くゆすいでもらえば、多少の残りかすがあっても出せます。

Q プラごみを出すとき、レジ袋などを内袋に使って出してもいいの?

A リサイクル施設で内袋を破って中身を取り出す手間がかかるので、内袋は使用せず、直接指定袋に入れてください。

Q 油のボトルや納豆の容器など、汚れや臭いが取れないものは?

A 中身を使い切っていれば、油や臭いが取れなくても出せます。

分別に迷ったら
北九州市ごみ分別
アプリを活用しよう。

ダウンロードは
こちらから



iOS用



Android用

プラスチックスマート推進事業

本市では、「排出削減」、「リユース・リサイクル」、「徹底回収」の観点から、プラスチックごみ対策に取り組んでいます。今年度は、指定ごみ袋の原材料の一部にバイオマスプラスチック(植物を原料としたプラスチック)を使用し、環境負荷を低減します。今秋から、順次店頭に並ぶ予定です。



地球温暖化の原因となる二酸化炭素を減らすため、原料に植物由来のポリエチレン(バイオマスポリエチレン)を使っています。

▶食品ロス問題でできること

やめよう! 買いすぎ、作りすぎ

家庭での食品ロスを減らすために、「もったいない」を意識し、「**買いすぎない**」「**作りすぎない**」の3**ない**ルールを実践しましょう!

家にある食材、食品をチェック

冷蔵庫の中身や家にある食材を確認しておく。



買い物は必要な分だけ

メモをとって必要な分だけ、短時間で買い物を。「安いから」という理由で安易に買いすぎる前に、使い切れるか考えよう。

作りすぎない

食べられる分だけを作る。食べ切れなかったものはアレンジレシピで食べ切る工夫を。



※参考:消費者庁

エコグッズが当たる! 「期限切れ食品」削減キャンペーン

本市では、食品ロスを削減するために、食べ物の「**残しま宣言**」運動に取り組んでいます。



運動の一環として、スーパーなどの店舗で廃棄される食品を削減するため、消費・賞味期限の近い商品に貼られた割引シールを集めて応募すると、エコグッズが当たる「期限切れ食品」削減キャンペーンを10月21日(水)から実施します。

詳しくは、**問**を。市のホームページ(右記を
読み取り)でもご覧になれます。



「残しま宣言」運動

毎月19日は冷蔵庫のクリーンアップの日

いつ食べるか分からない食品が冷蔵庫いっぱいに入っている、欲しいものがすぐ見つからない、同じ食材がいくつもあふ、などありませんか。毎月19日を「冷蔵庫クリーンアップの日」と決め、冷蔵庫を整理整頓し、「見える化」しましょう。



冷蔵庫の片づけテクニック

仲間分け

食品の種類、用途ごとに配置して見える化を



容器保存

中身と残量が分かる透明な容器に入れて保存



期限の近いものは 手前に

賞味期限、消費期限の近いものを手前に



期限が近いものから 食べる

鮮度を失いつつある食材を優先的に使う献立を